



平成30年度実施分 地域予算提案事業報告

つがの里活性化事業 【休憩所塗装工事】

地域課題

①ハスの開花時期には多くの来園者が訪れ、写真を撮影したり散策を楽しんだりしているが、年々ハスが弱ってきているため、平成28年度から再生工事を行っている。

②ハス池の中にある休憩所は、多くの方が利用し、写真にも写る場所であるが、屋根の老朽化が進み、コケや錆が発生しているため、景観を損ねている。



市の鳥「カモ」

市民の集いの場である「つがの里」を、観光レクリエーションの拠点として、子どもから高齢者まで多くの世代が楽しみ、集える魅力ある公園とするため、地域予算提案制度を活用し「つがの里活性化事業」と称し、平成28年度から、ハス池の再生工事を行ってきました。今年度は、ハス池の中にあります休憩所の屋根の塗装を行いました。6月30日、7月1日のハスマつりには、多くの来園者が休憩所を利用し、ハスを鑑賞したり、写真を撮ったりしていました。今年のハスは、1m以上の茎が伸び見事な大輪の花を咲かせていました。

栃木市の観光拠点として多くの方に来園していただけるような取り組みを引き続き行っていきます。

【横断旗の購入】



地域課題

子どもが道路を横断する際に使用する横断旗が老朽化や紛失により使えない箇所が多数あるため、横断歩道を渡る際に旗を利用することができず危険である。

横断旗は、五百本作製し、通路を優先に78か所に設置しました。

登下校時は、保護者やボランティアの付き添いがありますが、帰宅後、休日等、子どもだけで行動する時に横断歩道を渡る際の安全のために利用してください。

また、横断旗の設置を機に地域での交通ルール等の交通安全に対する意識の向上に繋がります。



【椅子とテーブルの購入】

地域課題

屋外のイベントで使用している机は古く小さく、ケガの危険性がある。また、重いため運搬、設置に苦慮している。椅子も古いものが多く座面が破けており、雨などで濡れると使用できなくなってしまう。



8月11日に実施された「TSUGA盆」で初お披露目となり、10月7日の「都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバル」、11月18日の「まるまるまるごとがまつり」と使用され、住民による地域活動の利便性と安全性が向上し地域イベントの更なる充実に繋がります。

地域予算事業計画書を提出

10月9日、市長室で各地域会議から市長へ平成31年度実施分地域予算事業計画書を提出いたしました。

都賀地域会議が提案した事業は、継続事業が2つ、新規事業が2つの計4つです。事業概要は、下記のとおりです。



大川市長(左)に事業計画書を提出する大塚都賀地域会議会長



市の木「トチノキ」

事業名	○目的・事業概要	担当課	概算事業費(千円)
つがの里 活性化事業 ＜継続＞	○公園内の環境を充実させ、市内外からの誘客を図り更なる賑わいを創出する。 ・ハスの古根除去や株分け、土壌改良などを実施し、ハスの再生を図る。	建設部 公園緑地課 公園緑地整備係	1,272 
地域活動支援事業 ＜継続＞	○備品を整備することで利便性を高め、地域活性化につなげる。 ・野外イベントでも使用出来る音響機器を購入し、住民が各種イベント等地域活動に活用する。	産業振興部 都賀産業振興課 商工観光係	913 
福祉施設遊具 購入事業 ＜新規＞	○あいあいプラザの遊具を新しく買い替えることで、子ども達のすこやかな成長を促す。 ・ボールプール一式を購入し、安全で安心な楽しい遊び場とする。	保健福祉部 福祉総務課 地域福祉係	295 
高齢者 リフレッシュ事業 ＜新規＞	○高齢者の心身リフレッシュと生きがいづくり。 ・ハートホールで高齢者を対象に、聴くだけでなく、出演者と一緒に歌って参加できるイベントを開催する。	保健福祉部 地域包括ケア推進課	300 

地域自治交流会を開催



9月29日、宇都宮大学から講師の先生を招き、国府公民館において「地域自治交流会」が開催されました。

市内全地域の地域会議委員で共有できるようなグループワークの方法を取りながら、人と人、地域と地域が繋がる交流会になりました。



・テーマ
「人と人・地域と地域をつなぐ」
・講師
宇都宮大学地域デザイン科学部
准教授 若園優志郎氏

総合支所と公民館の建て替えについて(第1回)

市では、公共施設の再編*の具体的な取り組みの一つとして、総合支所や公民館等の複数の公共施設を一つの建物(複合施設)に集約・整備する「総合支所複合化整備事業」を進めています。

その中で、都賀地域は総合支所が最も古く、公民館等の老朽化も進んでいることから、他の地域に先駆けて、複合施設の建設に向けた基本計画を策定することとなりました。

基本計画の策定にあたって、地域住民と市の認識の共有化、地域の実情の反映のため、都賀地域会議に「総合支所複合化検討部会」を設置しました。

【都賀地域会議総合支所複合化検討部会の役割】

- ①複合施設の立地エリアの検討(都賀地域のどの辺りに建設することが便利か)
- ②複合施設の機能の検討(どんなことができる施設とすることが便利か)

今後、整備に関するスケジュール、施設の建設場所や機能の方針が決定次第、この紙面でお知らせしていきます。

※「公共施設の再編」とは

市内には、合併により、多くの公共施設があり、これらの更新や維持に多額の費用が必要となり、子どもや孫の世代にとって大きな負担になることも想定されることから、市では、平成29年3月に「公共施設適正配置計画」を定め、施設の数や面積を減らすため、再編・統合に取り組んでいます。

都賀地域会議だより 第13号

平成30年11月20日発行

発行：都賀地域まちづくりセンター（都賀地域づくり推進課内）

〒328-0192 栃木市都賀町家中5982-1

電話：0282-29-1100 FAX：0282-28-0169

E-mail:t-chiiki@city.tochigi.lg.jp